

シンポジウム

「ガソリン散布を伴う放火火災に備える」

開催案内

一般参加
大募集!!

1. 趣旨説明 水野雅之 (東京理科大学)

2. 講演

[各講演は、質疑応答を含め20分、ただし実演を含む③④の講演は30分を予定]
(①⑤は神楽坂会場、②～④は野田会場にて講演予定)

3. 討論・意見交換 [30分を予定]

進行：桑名一徳 (東京理科大学)
まとめ：松山 賢 (東京理科大学)2022年
11月25日(金)

14:00～17:00

会場：東京理科大学

神楽坂キャンパス：森戸記念館

野田キャンパス：火災科学研究センター実験棟

同期オンライン：Zoom*

*外部からの参加と共に、神楽坂・野田の両会場をつなぎます

2021年12月17日に大阪市北区の小規模雑居ビルでガソリンがまかれた放火火災が発生しました。その約2年半前に起きた京都アニメーション第一スタジオでの放火がまだ記憶に新しかったことでしょうか。残忍な手口は到底許されない犯行ですが、こうした事象が発生した場合に何らかの手立てはないのでしょうか。

本シンポジウムは、大阪での放火事件からおおよそ1年が経過することを受けて、ガソリン放火火災の対策について専門家をパネラーに迎えて議論すると共に、一般の方々とも共有する機会を持つために企画されました。多くの方々の参加をお待ちしています。

主催：東京理科大学 総合研究院 火災科学研究所
(協力) 東京理科大学 野田市・流山市との包括的連携協定に基づく連携推進委員会

参加費：無料

【申込方法】

次のアドレスまたはQRコードより、11月11日(金)までにお申し込み下さい。

現地並びにオンラインの会場の参加枠には限りがあります。

申込み多数の場合は抽選になります。現地参加をご希望の方にオンライン参加をお願いする場合があります。予めご了承下さい。

https://tus.qualtrics.com/jfe/form/SV_cd6xcJ2fPkzrjAq

【お問い合わせ先】

東京理科大学 総合研究院 火災科学研究所 事務局 (野田研究推進課：澤田・石原)

Email: rist-jimukyoku@admin.tus.ac.jp Tel.04-7122-9151



①江戸から東京へ引き継がれてきた町割りの中で防火を考える

— 神楽坂で生きる私たち —

飯田公子

(神楽坂文化振興倶楽部 (神楽坂おかみさん会))



②ガソリン散布火災に関する種々の実験

岡本勝弘

(科学警察研究所)



③消火シートによるガソリン火災の消火・抑制効果

遠藤辰基

(ヤマトプロテック)



④瞬時に、広範囲に放射、ガソリン等への引火を防ぐ新発想の火災抑制剤放射器「クイックスプラッシャー」

高橋宏幸

(日本ドライケミカル)



⑤火災時に命を守るための避難計画

萩原一郎

(東京理科大学)